

第 1 章 EXERCISE のヒント

=====

EXERCISE (テキスト 32 ページ)

- ① 新聞記事データベース（日経テレコンなど）を用いて、合同会社が設立された事例を 1 つ 見つけ、その会社の出資者と経営者を確認し、合同会社設立の目的を調べてみよう。
- ② 以下のスノーピークの事例を読み、なぜ個人企業から会社企業への転換が進むのかについて、経営の継承、事業の性質などを踏まえながら、考えてみよう。

・スノーピークの事例

1958 年、山井幸雄が金物問屋として、山井幸雄商店を創業し、自ら趣味としていた登山の用品を開発し、全国に販売を開始した。1963 年には、「スノーピーク」を商標登録する。1964 年、山井幸雄商店は、有限会社山井商店として、法人組織化し、アウトドア・レジャーのメーカーとして事業領域を拡大する。1971 年に、株式会社ヤマコウへ組織変更。1986 年、現社長で創業者の子の山井太が入社すると、アウトドアをライフスタイルと捉え、スノーピークをオートキャンピング・ブランドとしてリニューアルし始めた。1992 年に、創業者で社長の山井幸雄が亡くなり、妻の山井トキが社長に就任。1996 年には、山井太が代表取締役社長に就任し、株式会社スノーピークに社名を変更した。さらに、アメリカの拠点である子会社 Snow Peak U.S.A.Inc. をオレゴン州に設立している。スノーピークは、順調に事業を拡大し、2014 年には東京証券取引所マザーズ市場に、2015 年には東京証券取引所一部に上場した。2022 年 4 月の東京証券取引所の市場再編に当たり、東京証券取引所プライム市場に上場したが、2024 年 4 月には、MBO（経営陣による買収）が成立し、上場を廃止することが報道されている。

=====

EXERCISE ①

- ・まず、新聞記事データベースを用いて、対象範囲を「全期間」に設定し、「合同会社」という用語を検索してみよう。そして、検索結果の中から、いくつかの記事を確認してみよう。
- ・記事の中には、合同会社の出身者や経営者について言及し、会社設立の目的について言及しているものがあるはずである。
- ・検索結果の記事の中から、合同会社という会社制度が新たに設けられた背景についても調べてみよう。

EXERCISE ②

- ・まず、山井幸雄商店以降の名称や事業活動の変遷、歴代社長と人間関係を確認してみよう。
- ・山井幸雄商店以降、事業活動に関わる資金の量はどのように変化したと思われるかを事業活動から推測してみよう。

- ・企業の発展に伴って, 社名を創業者の名字から変更した他の事例についても確認してみよう。
- ・上場を廃止した他の事例についても確認してみよう。